

2013年3月期 決算説明会

2013年5月20日

 **古河機械金属株式会社**

* 本資料の予想につきましては、説明会開催日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

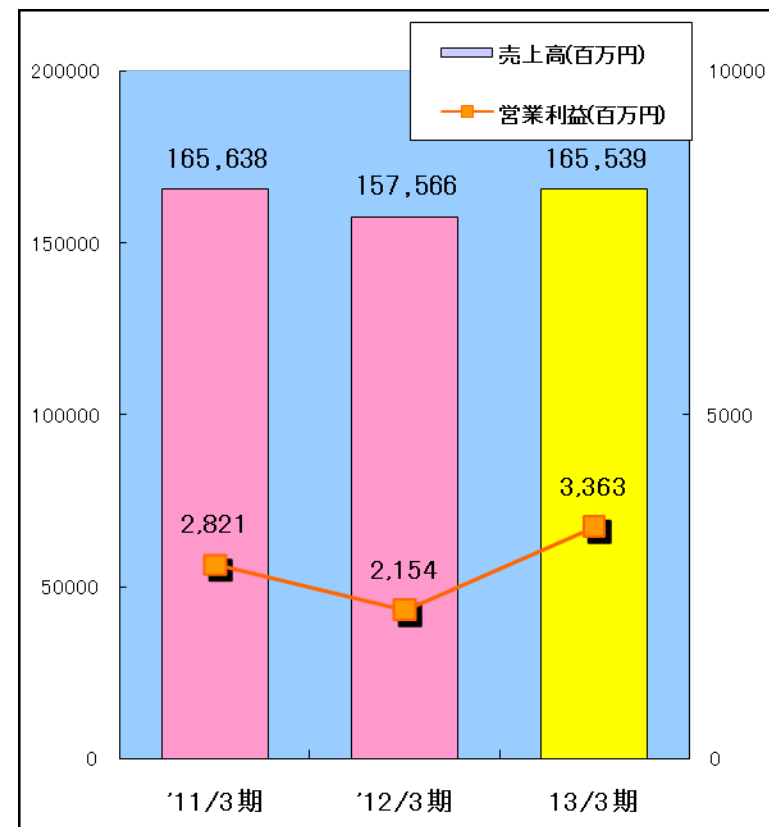
〔業績〕

(単位:百万円)

	11年3月期	12年3月期	13年3月期	対12/3期 増減
売上高	165,638	157,566	165,539	7,973
営業利益	2,821	2,154	3,363	1,208
経常利益	1,231	1,268	2,763	1,494
当期純利益	563	△1,659	2,976	4,636

〔財務状況〕

		12年3月期	13年3月期	対12/3期 増減
総資産	百万円	193,971	186,076	△7,894
純資産	百万円	47,668	51,507	3,838
自己資本比率	%	23.7	26.9	3.2
1株当たり純資産	円	113.88	123.99	10.11



〔売上高〕

(単位:百万円)

	12年3月期	13年3月期	対12/3期増減
機械部門	53,198	56,852	3,653
(産業機械)	(12,949)	(12,894)	(△54)
(開発機械)	(24,143)	(23,305)	(△837)
(ユニック)	(16,105)	(20,651)	(4,545)
金属部門	68,114	77,944	9,830
電子部門	4,615	4,987	371
化成品部門	5,187	5,093	△93
塗料部門(※1)	14,874	15,078	204
不動産部門	1,233	1,058	△174
燃料部門(※2)	9,576	3,770	△5,805
その他	766	753	△13
合計	157,566	165,539	7,973

	13年3月期	対前年同期増減
銅価 \$/mt	7,855	△630
為替 円/\$	83.1	4.0

〔営業利益〕

(単位:百万円)

	12年3月期	13年3月期	対12/3期増減
機械部門	1,970	2,923	953
(産業機械)	(708)	(778)	(70)
(開発機械)	(333)	(△67)	(△401)
(ユニック)	(928)	(2,212)	(1,284)
金属部門	308	282	△25
電子部門	△234	△262	△28
化成品部門	251	304	52
塗料部門(※1)	△329	65	394
不動産部門	356	219	△137
燃料部門(※2)	△13	△28	△14
その他	△93	△63	30
調整額	△60	△78	△18
合計	2,154	3,363	1,208

※1: 13/03に㈱トウベの株式譲渡により塗料部門から撤退

※2: 12/10に古河コマース㈱の株式譲渡により燃料部門から撤退

売上高

1575億

80億増(5%増)

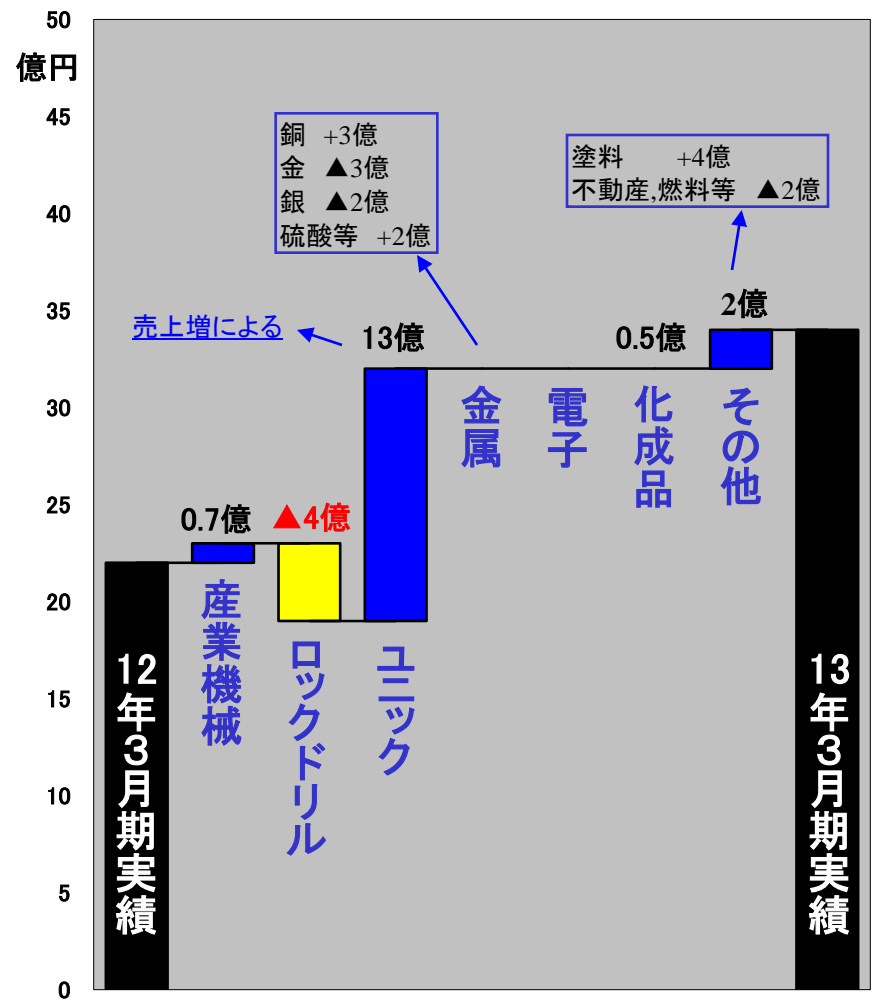
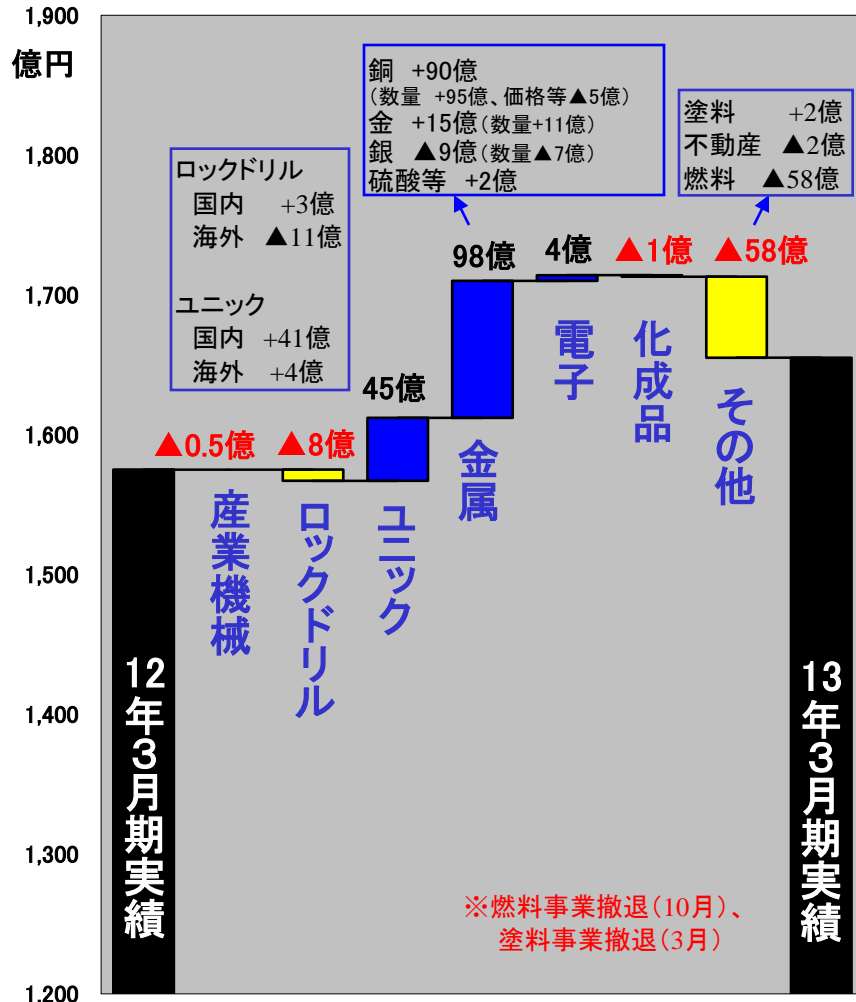
1655億

営業利益

22億

12億増(56%増)

34億



連結損益計算書

(単位:百万円)

	12/3月期	13/3月期	対12/3期増減
売上高	157,566	165,539	7,973
売上原価	138,097	144,224	6,127
売上総利益	19,469	21,315	1,846
販売費及び一般管理費	17,314	17,952	638
営業利益	2,154	3,363	1,208
営業外収益	1,572	1,999	427
受取配当金	793	297	△496
為替差益	159	966	806
不用品処分益	144	262	117
その他	474	473	△0
営業外費用	2,458	2,599	140
支払利息	1,403	1,259	△144
休鉱山管理費	581	541	△40
持分法による投資損失	-	332	332
その他	473	466	△7
経常利益	1,268	2,763	1,494
特別利益	739	3,096	2,357
投資有価証券売却益	2	993	991
受取補償金	632	1,263	631
子会社株式売却益	-	824	824
持分変動利益	79	-	△79
その他	24	14	△10
特別損失	4,669	427	△4,242
固定資産除売却損	136	63	△72
減損損失	100	331	230
投資有価証券売却損	1,027	-	△1,027
その他	3,405	32	△3,372
税金等調整前当期純利益	△2,662	5,432	8,094
法人税、住民税及び事業税	508	1,365	856
法人税等調整額	△1,377	912	2,290
少数株主利益(△損失)	△133	177	311
当期純利益	△1,659	2,976	4,636

原発事故の風評被害に対する
損害賠償金

㈱トウペ、古河コマース㈱の
株式売却による

前期は投資有価証券評価損
3,266百万円計上

連結貸借対照表

(単位:百万円)

区分	12年3月期	13年3月期	対12/3期増減
資産の部			
流動資産	81,498	79,507	△1,990
固定資産	112,473	106,569	△5,904
有形固定資産	85,085	79,024	△6,061
無形固定資産	647	214	△432
投資その他の資産	26,740	27,329	589
資産合計	193,971	186,076	△7,894
負債の部			
流動負債	74,807	74,439	△367
固定負債	71,495	60,130	△11,365
負債合計	146,303	134,569	△11,733
純資産の部			
株主資本	43,866	46,742	2,875
資本金	28,208	28,208	-
利益剰余金	15,705	18,580	2,875
自己株式	△46	△46	△0
その他の包括利益累計額	2,155	3,368	1,213
新株予約権	53	53	-
少数株主持分	1,593	1,343	△249
純資産合計	47,668	51,507	3,838
負債純資産合計	193,971	186,076	△7,894

内、トウペ分 約△95億円

内、トウペ分 約△100億円

内、トウペ分 約5億円

■有利子負債 (単位:百万円)

	12年3月期	13年3月期	対12/3期増減
短期	12,896	10,738	△2,158
長期	72,899	69,896	△3,002
有利子負債合計	85,795	80,634	△5,161

14年3月期業績予想(連結)

(単位:百万円)

	13年3月期	14年3月期 予想	対13/3期 増減
売上高	165,539	150,000	△15,539
営業利益	3,363	4,700	1,336
経常利益	2,763	3,000	236
当期純利益	2,976	2,000	△976

〔前提条件〕

	13年3月期 実績	14年3月期 予想
銅 価	7,855\$/ト	7,100\$/ト
為 替	83.1円/\$	85.0円/\$

〔売上高〕

(単位:百万円)

	13年3月期	14年3月期(予想)	対13/3期増減
機械部門	56,852	66,800	9,947
(産業機械)	(12,894)	(20,600)	(7,705)
(開発機械)	(23,305)	(25,500)	(2,194)
(ユニック)	(20,651)	(20,700)	(48)
金属部門	77,944	69,100	△8,844
電子部門	4,987	6,000	1,012
化成品部門	5,093	6,300	1,206
塗料部門(※1)	15,078	-	△15,078
不動産部門	1,058	1,000	△58
燃料部門(※2)	3,770	-	△3,770
その他	753	800	46
合計	165,539	150,000	△15,539

〔営業利益〕

(単位:百万円)

	13年3月期	14年3月期(予想)	対13/3期増減
機械部門	2,923	4,150	1,226
(産業機械)	(778)	(1,600)	(821)
(開発機械)	(△67)	(650)	(717)
(ユニック)	(2,212)	(1,900)	(△312)
金属部門	282	300	17
電子部門	△262	70	332
化成品部門	304	300	△4
塗料部門(※1)	(65)	-	△65
不動産部門	219	0	△219
燃料部門(※2)	△28	-	28
その他	△63	△50	13
調整額	△78	△70	8
合計	3,363	4,700	1,336

※1: 13/03に㈱トウベの株式譲渡により塗料部門から撤退

※2: 12/10に古河コマース㈱の株式譲渡により燃料部門から撤退

14年3月期部門別業績予想の増減(連結)

売上高

1655億

155億減(9%減)

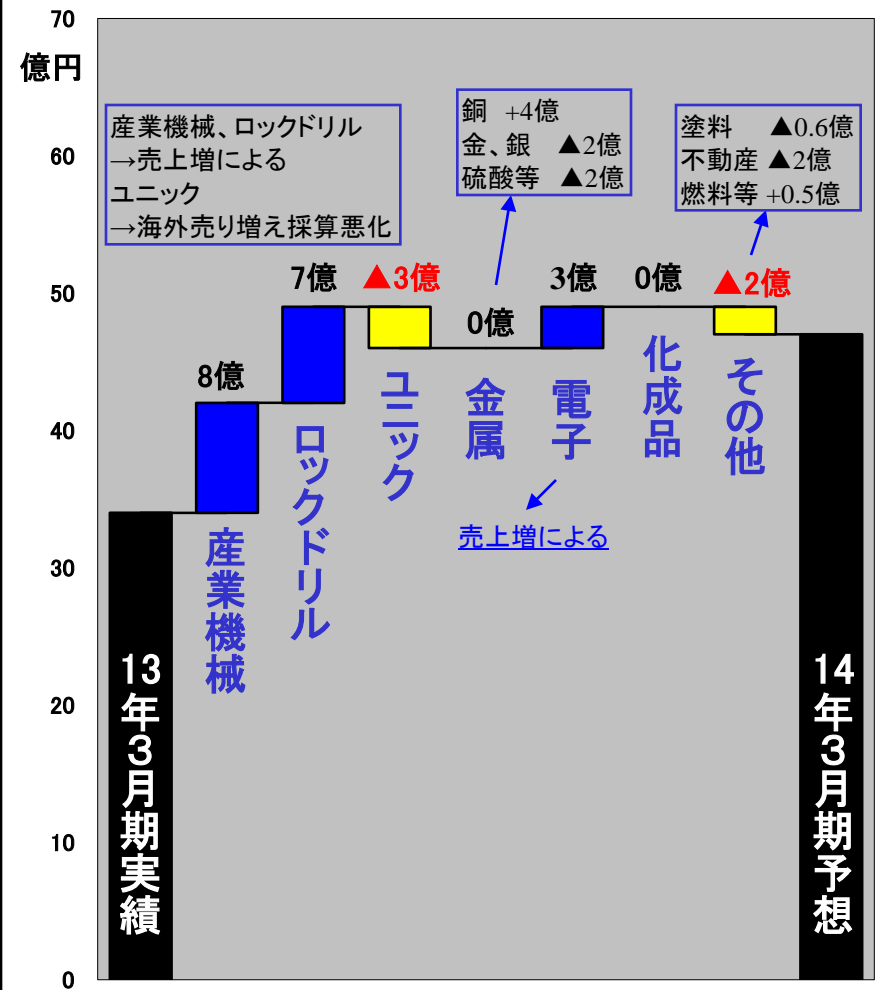
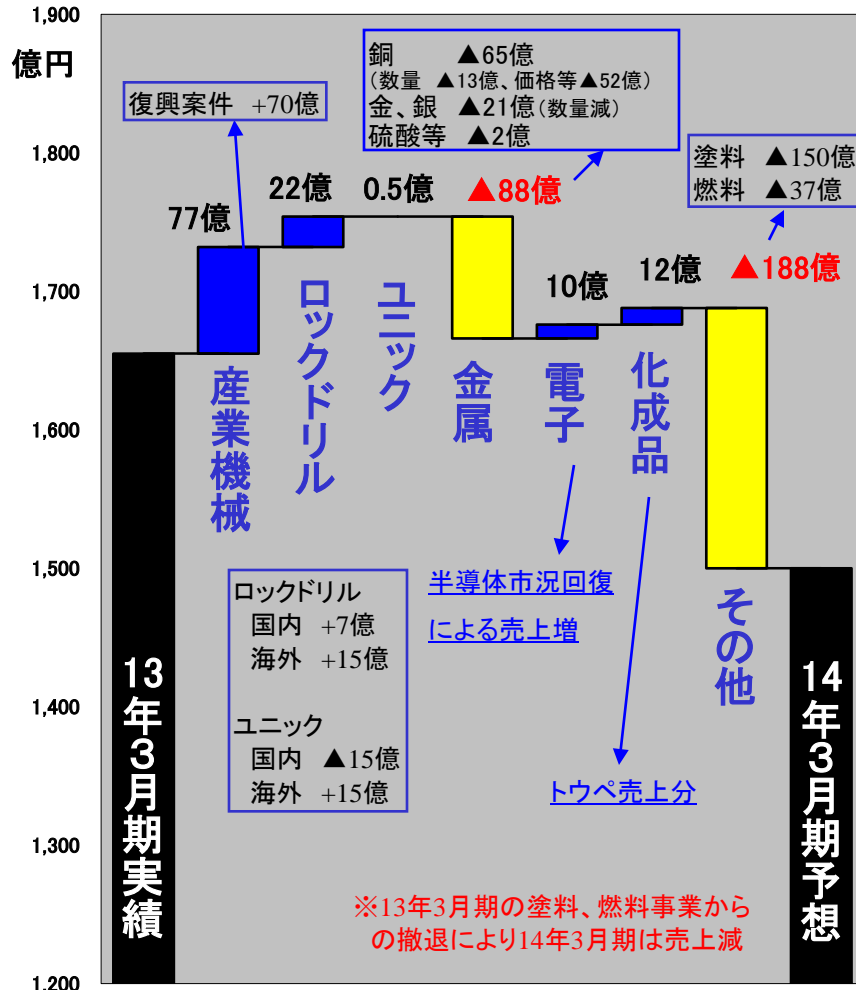
1500億

営業利益

34億

13億増(40%増)

47億



設備投資の状況(連結)

(単位:百万円)

設備投資額	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期 (予想)
機械部門	467	771	978	1,300
金属部門	311	325	386	600
電子部門	167	280	231	550
化成品部門	176	177	103	100
塗料部門	235	350	339	-
不動産部門	305	1,482	800	8,800
燃料部門その他	451	203	89	650
設備投資 合計	2,112	3,588	2,926	12,000

日本橋室町東地区再開発事業

減価償却費の状況(連結)

減価償却費	3,288	3,328	3,014	2,800
-------	-------	-------	-------	-------

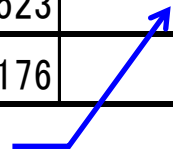
研究開発費の状況(連結)

研究開発費	2,224	2,621	2,558	1,800
-------	-------	-------	-------	-------

金属製品・為替の状況(連結)

		11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期 (想定)
銅海外相場(平均)	¢/ポンド	369.2	384.9	356.3	322.1
	\$/トン	8,139	8,485	7,855	7,100
円相場 対米ドル平均(円/\$)		85.71	79.07	83.10	85.00
《古河メタルリソース(株)生産販売》		11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期 (予想)
銅 生産量(t)		89,523	76,896	90,387	89,035
銅 販売量(t)		89,176	82,597	96,789	94,885

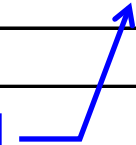
震災により委託製錬所が
操業停止したことによる減



従業員の状況

	11年3月末	12年3月末	13年3月末	対12/3末増減
連結人員(名)	2,728	2,752	2,342	△ 410
うち単独人員(名)	(215)	(223)	(228)	(5)

(株)トウペの株式譲渡により
連結除外となり人数減



基本方針

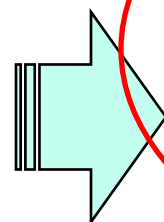
- ・機械事業の技術力強化と更なる海外展開の推進
- ・新製品の事業化に向けた開発の促進

2012(H24)年度

機械	産業機械
	ロックドリル
	ユニック
素材	金属
	電子
	化成品
その他	塗料→25年3月撤退
	不動産
	燃料→24年10月撤退
	その他

2013(H25)年度

機械	産業機械
	ロックドリル
	ユニック
素材	金属
	電子
	化成品
その他	不動産
	その他



『機械事業』と
『素材事業』に注力

機械事業と素材事業の主な市場領域

中核事業(機械3事業、素材3事業)

機械	産業機械
	ロックドリル
	ユニック
素材	金属
	電子
	化成品



◎資源開発

- ・鉱山(鉄鋼石、銅、石炭、石灰等)
- ・砕石場

◎インフラ・土木・建築

- ・土木・建設現場
- ・トンネル工事
- ・橋梁、歩道橋
- ・下水処理場
- ・資材運搬



◎ベースメタル

- ・銅

◎エレクトリック・IT・半導体産業

- ・半導体
- ・電子機器
- ・LED
- ・パソコン、通信機、携帯電話
- ・デジタル家電(TV、DVDなど)
- ・白物家電(エアコン、冷蔵庫など)



◎化学産業

- ・製紙工場
- ・化学工場
- ・塗料工場
- ・銅めっきメーカー



『機械事業』のキーポイント

海外⇒新興国・資源国

国内⇒復興需要、インフラ整備

◎重工業

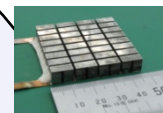
- ・製鉄所
- ・製錬所
- ・造船所
- ・各種工場
- ・焼却炉



◎次世代エネルギー

・次世代製品

- ・エコカー
- ・太陽光発電
- ・スマートコミュニティ
- ・放射線測定器
- ・次世代医療用検査機器



『素材事業』のキーポイント

新素材の開発・事業化

機械事業の重点施策

- ・国内は復興案件の営業展開を強化
- ・海外は新興国を中心に鉱山開発、インフラ・土木・建築市場向けに拡販

<産業機械>

- ・復興案件にかかる営業展開を強化
- ・受注した高台移転事業の確実なる進捗（破碎設備、コンベア設備など）

<ロックドリル>

- ・海外 東南アジア・南アフリカ・中南米等の鉱山開発・インフラ整備向けに拡販
- ・国内 復興関連向け製品（トンネルドリルジャンボなど）の営業展開を強化

<ユニック>

- ・海外 新興国を中心にユニッククレーン、ミニ・クローラクレーンの営業を強化
- ・国内 ミニ・クローラクレーン、船舶用クレーン等を引き続き拡販

復興案件－関連製品－（機械3事業）

■ 砕石・セメント鉱山

クローラドリル



ブレーカ



破碎機類

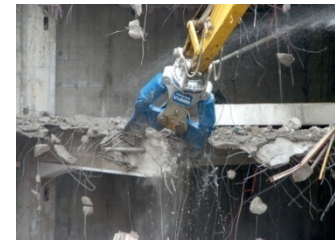


■ 物流、建築土木現場

ユニッククレーン



圧砕機



ベルトコンベア



■ 道路（橋、トンネル）

橋梁



トンネルドリルジャンボ



■ 下水処理

汚泥ポンプ



■ その他

オーシャンクレーン



ミニ・クローラクレーン



トンネル工事用電気集じん器



当社が得意とする製品の営業展開を強化

復興案件－高台移転－（産業機械事業）

破碎設備：

高台住宅地を整備するため
山を切り開き、そこで出る岩石を破碎する設備



受注した高台移転事業の确实なる進捗
(破碎設備、コンベア設備など)

コンベア設備：

嵩上げ地へ破碎した土砂を山から運ぶ設備

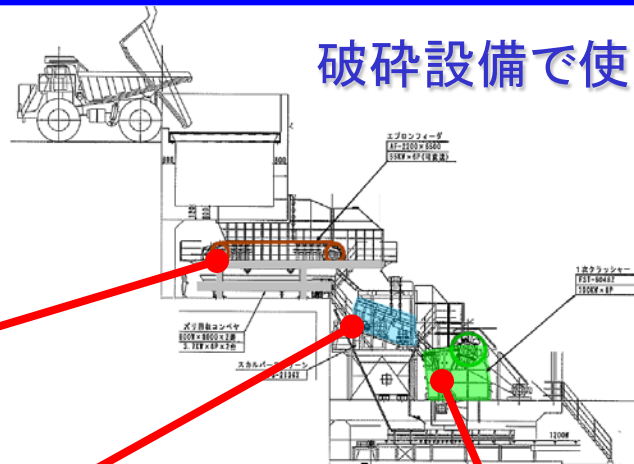
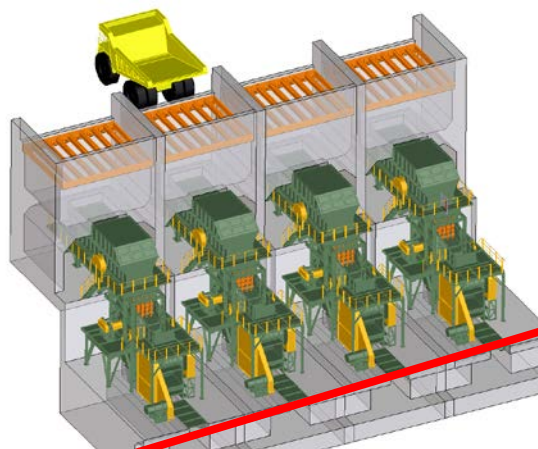


高台移転エリア
(山を切り開く)

嵩上げエリア
(土砂で盛り土)

高台移転イメージ図

破碎設備で使用される破碎機類



エプロンフィーダ

スカルパススクリーン

ジョークラッシャ



エプロンフィーダ 実例写真

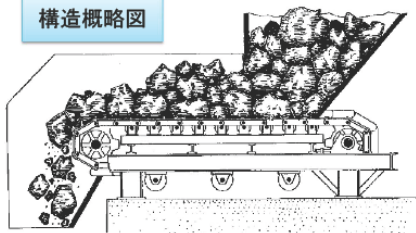


スカルパススクリーン 実例写真



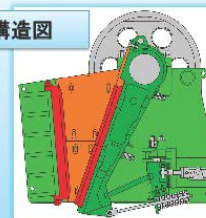
ジョークラッシャ 実例写真

構造概略図



エプロンフィーダは2本のリンクチェーンに短冊形の波板鋼板(エプロンパン)を取付け、ローラ上を走行させて原石ピンから原料を引き出す供給機です。各部は充分強度をもたせ、大きな原料の落下による衝撃や原石ピン中の大きな重量に耐え得るようになっており、原石は定量で引出され次の工程に送られます。

構造図

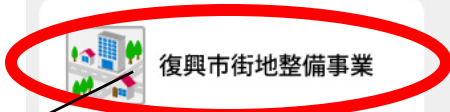


ジョークラッシャはフレームに固定した固定歯とスイングジョーの備忘軸による前後への往復運動の圧縮作用で原料を破碎します。数百mmの大きな岩石も破碎することができ、鉱山、砕石プラントで1次破碎機として使用されます。

ベルトコンベアで嵩上げ地へ

復興案件－高台移転－（産業機械事業）

高台移転や
盛り土による嵩上げ地を整備



復興市街地整備事業



災害公営住宅整備事業

※UR都市機構HPより引用
URが関わる復興支援事業（被災3県で20市町村）

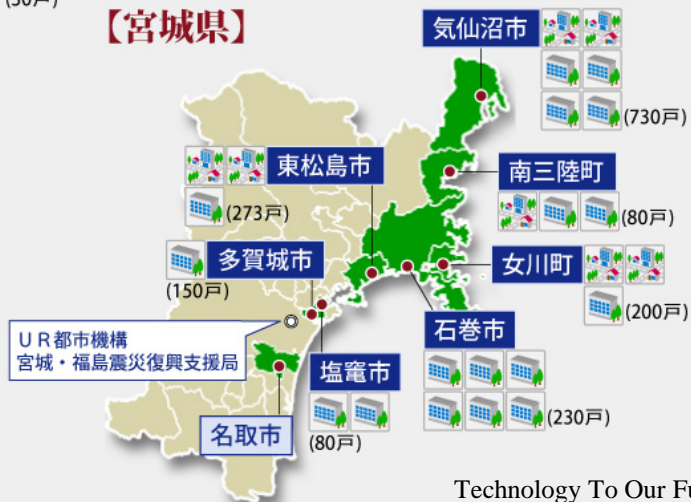
【福島県】



【岩手県】



【宮城県】



同様案件への営業展開を強化

復興案件－交通インフラ－(産業機械・ロックドリル事業)



トンネルドリルジャンボ：
復興道路、復興支援道路の
トンネル工事で稼働が見込まれる

トンネル、橋梁工事案件への 対応強化

トンネル工事 ...44件、橋梁工事 ...約100件

橋梁：
橋梁工事の受注目指す



トンネル工事用電気集じん器：

バグフィルター式集じん器と比べ電気コスト大幅減を訴求



※国土交通省HPより引用

復興案件—トンネルドリルジャンボ—



トンネル工事用油圧ブレーカ：
岩盤掘削や発破後の浮石除去に使用



トンネルドリルジャンボ：
岩盤発破に必要な火薬装填用の穴を開ける



着工済みの復興道路、復興支援道路のトンネル工事9件すべてで稼働
今後の工事案件への営業展開を強化

復興案件ー積載・輸送ー(ユニック事業)



ユニッククレーン

今後もフレコンバッグのほか、資材の積載・輸送にユニッククレーンが多数使用される見込みで、需要に対応していく

復興案件－その他－(ユニック事業)



船舶用クレーン(オーシャンクレーン)



ミニ・クローラクレーン



トラック以外のユニック製品(船舶用クレーン、ミニ・クローラクレーン等)
も引き続き拡販

ロックドリル事業—海外—

鉱山(鉄鋼石、銅鉱石、石炭、石灰)や砕石場など

油圧ブレーカ



<発破後の大きな岩を小割する機械>

油圧クローラドリル
(孔径64-115mm)

新型機投入!



<火薬装填用の穴を開ける機械>



ダウンザホールドリル
(孔径89-229mm)

空圧クローラドリル
(孔径64-102mm)



中規模鉱山、セメント各社、専門下請業者をターゲット



南アフリカ／石灰鉱山



チリ／銅鉱山



インドネシア／石炭鉱山

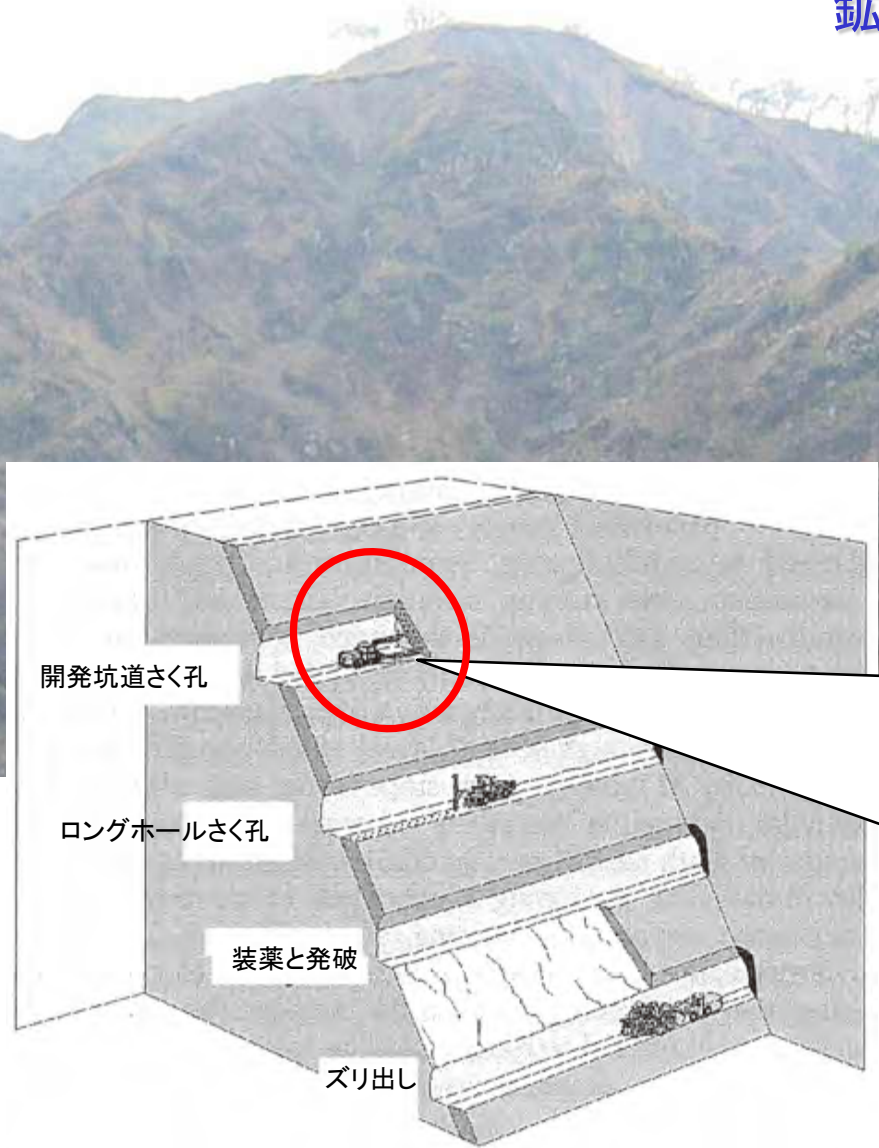


中国・新疆／鉄鋼石鉱山

ロックドリル製品の海外稼働例

ロックドリル事業—海外—

鉱山(坑内掘り)



坑内掘り鉱山をターゲット

ロックドリル事業－海外－

インフラ整備(土木・建築現場)



岩盤の固い地域では油圧ショベル
のアタッチメント製品である
油圧ブレーカを使用して整地



大規模な整地には
油圧クローラドリルも使用される



ゼネコンをターゲット

ユニック事業—海外—

建設現場屋内でラジコン操作による外壁施工



折り畳んで作業現場に移動



建設現場屋上で資材運搬



ミニ・クローラークレーンの
用途開拓による拡販



ロシアで稼働するユニック



インドネシアなどの油田でも

ロシア、東南アジアなど新興国向けに
ユニッククレーンの営業強化

素材事業の重点施策

- ・ 鉱山投資による収益確保
- ・ 新製品・新素材の開発と事業化により収益力を強化

< 金属 >

鉱石の安定調達と権益確保のための鉱山投資を引き続き検討

< 電子材料 >

電子材料事業の柱の一つとしてコイル事業の拡大・強化

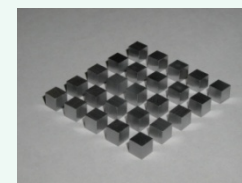
コアを自社生産できる技術を活かし、電子制御化が進む自動車部品向けに注力
(EX: 充電器、電動パワステ、アイドリングストップ、エンジンユニット等向けのコイル)



EV・PHV充電器用リアクトル

< 事業化案件 >

引き続き、窒化ガリウム(GaN)基板、熱電変換材料、
シンチレータ結晶(LuAG結晶・GAGG結晶)の応用展開、
等開発を進め、事業化を推進



熱電変換素子



GAGG結晶

ご清聴有難うございました

△ 古河機械金属株式会社

過去5年間の部門別実績と業績予想

〔売上高〕 (単位:百万円)

	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期(予想)
機械部門	62,639	44,313	47,025	53,198	56,852	66,800
(産業機械)	(15,836)	(12,783)	(10,655)	(12,949)	(12,894)	(20,600)
(開発機械)	(29,427)	(20,386)	(23,880)	(24,143)	(23,305)	(25,500)
(ユニック)	(17,375)	(11,142)	(12,490)	(16,105)	(20,651)	(20,700)
金属部門	68,786	71,132	79,979	68,114	77,944	69,100
電子部門	5,568	5,969	7,147	4,615	4,987	6,000
化成品部門	5,820	5,025	5,076	5,187	5,093	6,300
塗料部門(※1)	—	3,692	15,040	14,874	15,078	—
不動産部門	2,386	2,043	1,577	1,233	1,058	1,000
燃料部門(※2)	15,452	9,893	9,004	9,576	3,770	—
その他	1,204	854	785	766	753	800
合計	161,857	142,925	165,638	157,566	165,539	150,000

〔営業利益〕 (単位:百万円)

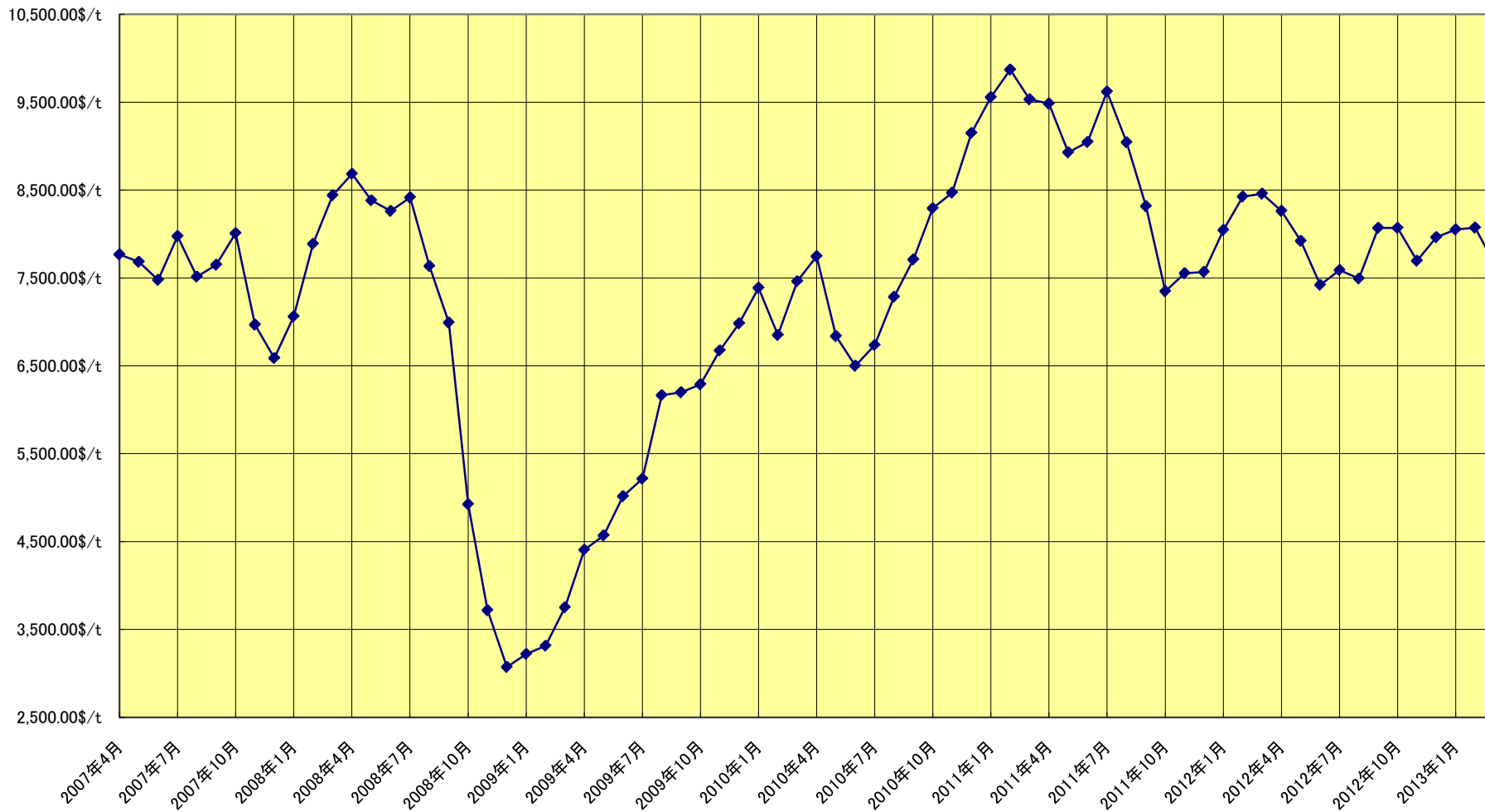
	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期(予想)
機械部門	1,733	△3,022	△566	1,970	2,923	4,150
(産業機械)	(767)	(433)	(△29)	(708)	(778)	(1,600)
(開発機械)	(255)	(△2,584)	(△350)	(333)	(△67)	(650)
(ユニック)	(710)	(△870)	(△186)	(928)	(2,212)	(1,900)
金属部門	23	3,224	1,494	308	282	300
電子部門	4	657	1,279	△234	△262	70
化成品部門	201	104	269	251	304	300
塗料部門(※1)	—	△19	△93	△329	65	—
不動産部門	706	1,128	635	356	219	0
燃料部門(※2)	202	△29	△56	△13	△28	—
その他	△304	△376	△92	△93	△63	△50
調整額	△264	△69	△49	△60	△78	△70
合計	2,303	1,597	2,821	2,154	3,363	4,700

※1：09/12に㈱トウペを連結子会社化、13/03に㈱トウペの株式譲渡により塗料部門から撤退

※2：12/10に古河コマース㈱の株式譲渡により燃料部門から撤退

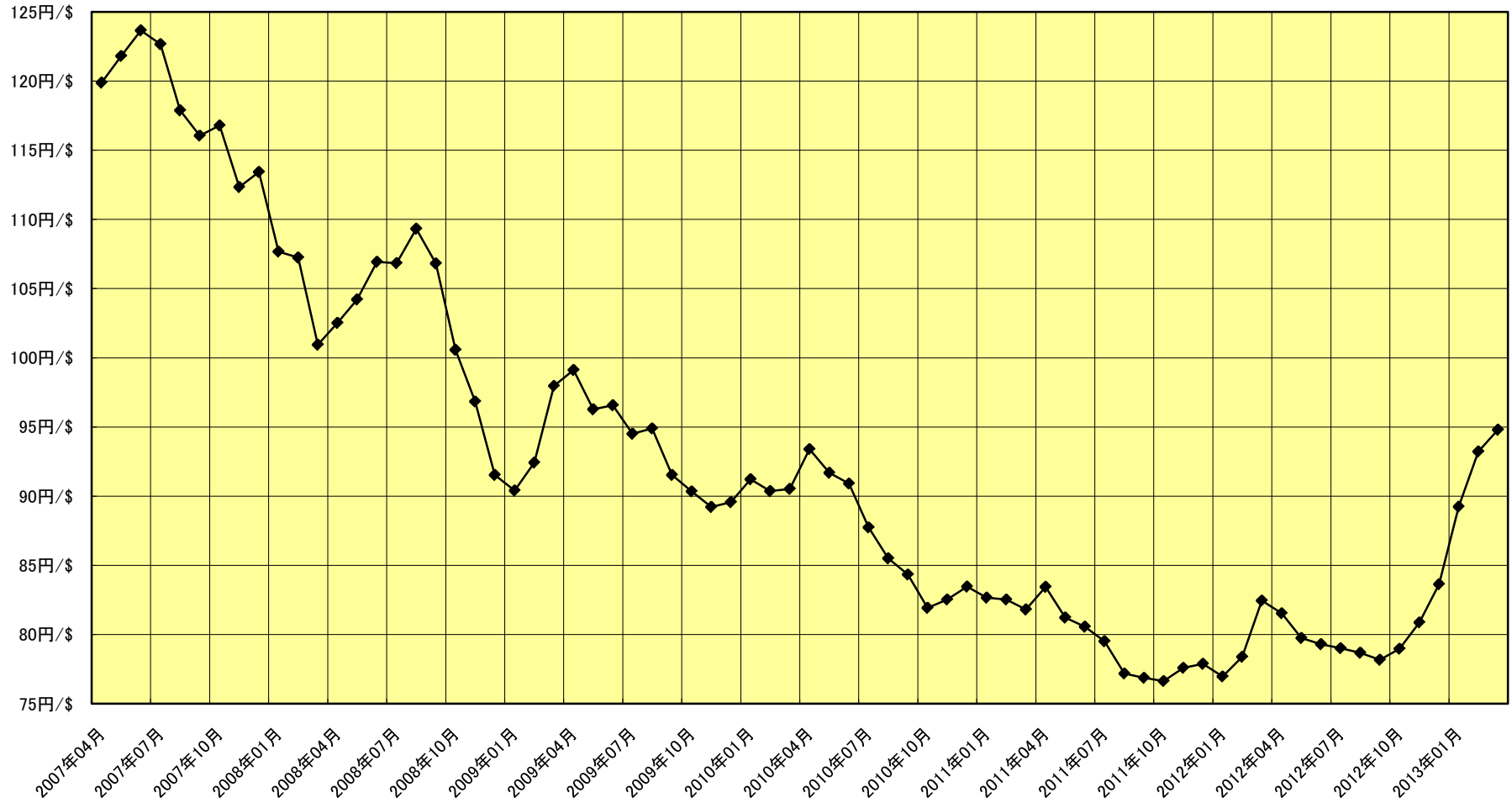
注：「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用（11年3月期）により10年3月期の数値を同基準に置き換えて表示しています

銅価格海外相場推移(月中平均)



※当社調べ

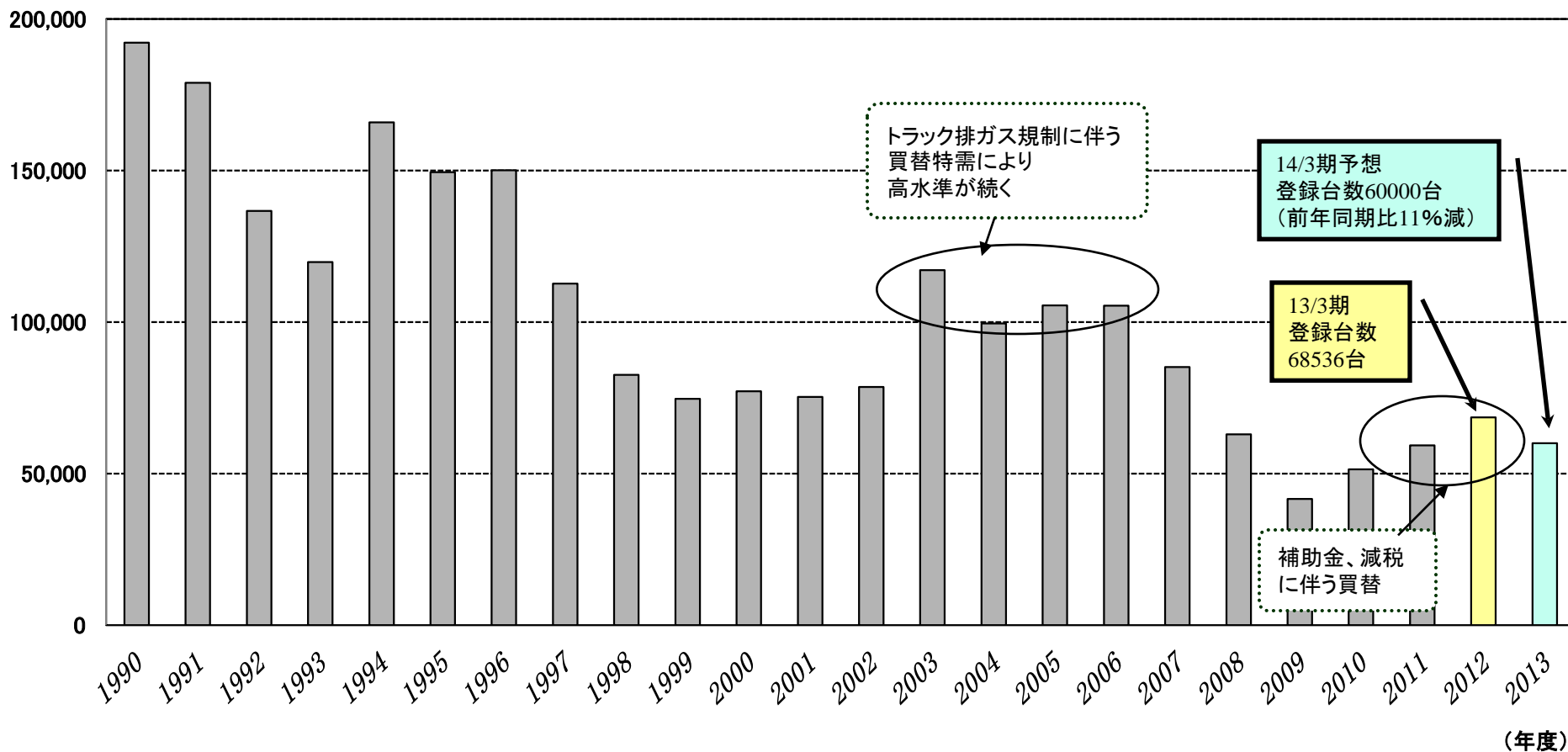
為替相場推移(月中平均)



※当社調べ

国内普通トラック登録台数推移

(単位:台数)



※当社調べ